

地域福祉ビジョン改訂 小委員会 議事録

R8.5.11 10:00～ 第2会議室

出席者：殿井委員、實宗委員、宮川委員、山野委員、藤居委員、多賀谷委員
住吉区社会福祉協議会 井西係長、木村係長
住吉区福祉課 稲岡課長、津村課長代理、松村係長

R8.5.11 13:30～ 第2会議室及び Web 参加

出席者：宮川委員、上原委員、松岡委員
住吉区社会福祉協議会 木村係長
住吉区福祉課 稲岡課長、津村課長代理、松村係長

《資料説明》

資料に沿って説明を行い、各分野の課題資料は津村代理にて説明。

《主なご意見》

基本目標 1-① 自分と地域を重ねて、しあわせを考えられる住吉区に **きっかけづくり**

- ・「地域福祉は楽しい」ということを分かってもらえる仕組み作りが必要。
- ・地域活動に参加 1 ポイント、運営側で参加 3 ポイントなどの仕組み。
- ・中学生は福祉教育など素直に受け止める。将来の地域活動の担い手として期待できるのではないか。
- ・「ゆるやかなつながり」を大きくアピールしていくことが大切。
- ・ボランティアと言うと社会使命感、重たく感じる。だからしんどい。
- ・コロナ禍を経て、さらに地域活動への参加が減っている。
- ・世代間の違いや、個人主義、個人情報の問題も地域活動への参加を難しくしている。
- ・30 代などは、きっかけがあれば男性も活躍するのではないか。

基本目標 1-② 地域のしあわせをいろいろな人と話しあえる住吉区に **集う場づくり**

- ・地域、町会共通の対応が必要ではないか。
- ・楽しい活動であれば、他の人も集ってくる。
- ・地域座談会には障がい者支援の事業所も参加できれば良い。
- ・アンケート結果で、回答者が女性が圧倒的に多い。男性の担い手をどう増やすか。

基本目標 1-③ 助け助けられ、お互いさまを実感できる住吉区に **役割づくり**

- ・集合住宅が多く、町会加入率は 30%。「しんどいときは助けてほしいけど、それ以外は（かまっていらん）」という人をどうするのか。
- ・大阪市の高齢者（65 歳以上）のポイント事業は、いろいろな人が地域活動にかかわるきっかけとなっているのではないか。高齢者だけでなく、他の世代も対象にした事業にすれば良いのでは。
- ・60 歳になってふと不安になったというような人が、活動の担い手として入ってくれることもある。
- ・認知症の受け止めは家族によって異なる。認知症サポーター養成講座が入り口になりやすい。
- ・一度かかると抜け出せないのではないかという不安が二の足を踏む。

- ・組織化でなく単発で関われる仕組みが必要。スキマバイトのような。
- ・地域活動は定年で辞めた人が、引きこもるのを防ぐ。
- ・高齢者も仕事をしている。仕事をやめる年齢が上がると、地域活動に参加する年齢も上がる。
- ・災害時、「この人に頼みたい」という関係を作っておく。
- ・スキマで参加してもらえるような仕組み作り。

基本目標 1-④ 地域のしあわせ「今」「これから」がみんなに見える住吉区に 情報発信

- ・どの地域も「担い手がない」と困っている。
- ・さまざまな立場の住民が、地域活動に参加する機会の提供や、活動のありかたの工夫が求められている。
- ・他市に図書館通帳というものがある。本を借りると「通帳」に記載され、読んだ本の履歴がたまっていく。これにより図書館の利用者が増加。
- ・図書館に来るのは男性が多い。本が好きなのか、家にいづらい男性の居場所になっているのか。図書館で本を借りることが外出の機会となっている。
- ・町会の活動は実際に参加してみても初めて分かる。知ってもらうことがいかに重要かが分かった。
- ・住吉区に何があるのか分かっていない。(社会資源) 相談したいことをうまく伝えられない。
- ・広報(に情報があるのに)を読んでいない。支援者が「広報誌に載ってるよ。」と言えたら良い。
- ・広報誌が事業所には入らない。
- ・一方で、大阪市では地域でたくさんのイベントが開催されている。子ども中心のものにも高齢者がかかわる。
- ・さまざまな年代の人が参加し世代間交流ができるイベントがある。
- ・個人主義が強まっているが、子どもたちはどのように感じているのか。子どもたちへの人権教育のように幼少期から地域活動へのきっかけをつくる。

基本目標 2-① すべての人が自分の意見を言える、それが大切にされる住吉区に 権利擁護

- ・子ども、外国にルーツのある人、だれもが(地域で)

基本目標 2-② たくさんの「気になるなあ」が支援につながる住吉区に 気づきと共有

- ・見守り活動について、地域で取り組みがいろいろ。名簿の扱いも統一されていない。
- ・個人情報重視するあまり、地域で情報共有ができていない。
- ・「個人情報の壁」は問題。子どもの話を聞くと家庭の様子が分かる。
- ・個人情報の壁はやはり、本人が参加してもらってつながる必要あり。

基本目標 2-③ 「木も見る、森も見る」まるごと話しあい、支援が進む住吉区に

支援のネットワークづくり

- ・民生委員に来る情報はかなりひどい(状況となった)かたばかり。
- ・誰もが地域活動に参加しやすい環境が必要。

基本目標 2-④ それぞれができることから、大きな力を生み出せる住吉区に 支援者どうしの連携

- ・(本会議では当てはまるご意見なし)